

◆ 第36回やまぐち眼科フォーラム ◆

現在の新型コロナウイルス感染状況を鑑み、Web開催に変更致しました。

[日時] 日時:2022年1月15日(土)
17:00~19:00 特別講演1, 2
19:00~20:00 山口県眼科医会臨時総会

[開催形式] オンライン開催(Zoom ウェビナー)

[会費] 1,000円 ※コンビニ決済・ペイジー決済となります。

日本眼科学会専門医制度障害教育事業 認定事業番号:16861 2単位)

◆プログラム◆

17:00~18:00

特別講演1 『人工知能技術(AI)で良くなる眼科医療』

座長:山口県眼科医会 会長

大西 徹 先生

演者:広島大学大学院医系科学研究科

医療のためのテクノロジーとデザインシンキング寄附講座 教授

ツカザキ病院眼科主任部長

田淵 仁志 先生

18:00~19:00

特別講演2 『網膜静脈閉塞症の歴史と現在の治療・研究update』

座長:山口大学大学院医学系研究科眼科学 教授

木村 和博 先生

演者:大阪医科薬科大学 眼科学教室 教授

喜田 照代 先生

19:00~20:00

山口県眼科医会臨時総会

特別講演1 『人工知能技術(AI)で良くなる眼科医療』



田淵 仁志 先生 ご略歴

平成9年 大阪市立大学医学部 卒業
平成13年 大阪市立大学大学院医学研究科 修了
平成14年 大阪市立大学医学部視覚病態学 助手
平成16年 三栄会ツカザキ病院 眼科医長
平成19年 三栄会ツカザキ病院 眼科主任部長
平成27年 名古屋商科大学経営学大学院 修了
平成30年 広島大学大学院医系科学研究科
医療のためのテクノロジーと
デザインシンキング寄附講座教授

2016年12月にJAMA誌に掲載された糖尿病網膜症診断人工知能(AI)の論文で眼科領域へのAI応用研究開発が始まりました。私達のチームは超広角眼底カメラによる網膜剥離診断AIを世界で初めて発表し、その後も緑内障、加齢黄斑変性症、網膜前膜、網膜色素変性症、網膜静脈分枝閉塞症等々の眼底疾患診断AIを継続的に発表してきました。それらの経験から私達が学んだことは、必然的に境界例が存在する疾患診断課題に対するAIの性能限界についてです。事前確率すなわち疾患有病率が低い対象群に対して現況のAIを用いることは臨床の現場を混乱させることになる。200個以上も発表されたCOVID19の診断AIのほとんどすべてが役に立たず、それどころか害悪になるとすら分析された理由も事前確率の低さでした。数%の有病率しかない疾患に適応できるほど現況の診断AIの能力は高くないのです。AIについてのもうひとつの重要な視点がAIのブラックボックス問題です。AIの診断根拠が分からない問題のことです。その反面、現代AIの中心技術である深層学習(Deep Learning)の性能は過去のあらゆる機械学習技術に比べて高いのです。つまりブラックボックス性(解釈性)が低いが高性能なのがDeep Learningなのです。

私達のチームはこれらのAIの特性と眼科医療のニーズの双方を満たす応用先を開発しています。手術安全管理AIシステム、点眼瓶アドヒアランスAIシステムさらには画像を外部施設に出すことなくAIモデルを構築する協調機械学習(Federated Learning)システムなどについて今回の貴重な機会で見分かりやすく解説させていただきます。

特別講演2 『網膜静脈閉塞症の歴史と現在の治療・研究update』



喜田 照代 先生 ご略歴

1996年3月 大阪医科大学卒業
1996年5月 大阪医科大学眼科学教室入局
2002年3月 大阪医科大学大学院修了、医学博士
2002年4月 淀川キリスト教病院眼科医員
2005年5月 米国カリフォルニア大学
サンディエゴ校眼科フェロー
2007年6月 淀川キリスト教病院眼科副医長
2009年4月 市立枚方市民病院眼科副部長
2011年4月 大阪医科大学眼科講師(准)
2014年10月 大阪医科大学眼科講師
2020年4月 大阪医科大学眼科診療准教授
2021年4月 大阪医科薬科大学医学部
感覚器機能形態医学講座
眼科学教室教授

網膜静脈閉塞症(RVO; retinal vein occlusion)は、日常よく遭遇する網膜血管疾患で、黄斑浮腫を合併すると強い視力障害をきたします。網膜静脈分枝閉塞症(BRVO)も網膜中心静脈閉塞症(CRVO)もともに1800年代後半に既に報告があり、高血圧や血栓などの関与が示唆されていますが、明らかな発症メカニズムは発見から150年経った現在もまだ解明されていません。

off-labelのアバスタン硝子体注射より始まったVEGF阻害薬の登場により、加齢黄斑変性や近視性脈絡膜新生血管、糖尿病黄斑症など、黄斑疾患に対する治療が飛躍的に前進し、RVOの黄斑浮腫に対しても2013年ルセンチス®、アイリーア®が承認されました。これら抗VEGF薬の登場により、黄斑浮腫の減少はもちろん、初診時視力が不良の症例でも今までの治療法ではだせなかった視力に到達でき、患者さんも喜んで下さる機会が多くなりましたが、その反面、抗VEGF薬の投与回数など気になります。研究面では近年、BRVO眼の動静脈交叉部における静脈は閉塞しておらず管腔は保たれていること、さらに静脈血管自体がvasoactivityを有すること、RVO症例の傍眼においても網膜静脈圧が高いことなどが報告されました。

本講演では、RVOの歴史を振り返って先人の英知に学び、私が経験させて頂いた症例や行ってきた研究を通じて、日常診療に役立つかもしれない私見をご紹介します。

参加登録のご案内

■参加申込について

QRコードか下記URLよりアクセス後、手順に沿ってお申込みください。

【参加申込ページ】

<https://letterpress.co.jp/url/in120J>



■参加費・定員

参加費：1,000円

※コンビニ決済・ペイジー決済をお選びいただけます。

定員：制限なし

■申込期間

2022年1月14日（金）正午まで

■参加方法

お申込の際にご登録いただいたメールアドレスに視聴用URLを送付いたします。

視聴用URLの送付は2022年1月14日(金)午後を予定しております。

当日お時間になりましたら、視聴用URLよりご入場ください。

※お申し込み後のキャンセルは致しかねます。

※受付完了、決済完了のメール、Zoomウェビナーのご案内メールが受信できるようあらかじめ

『@eventpay.jp』もしくは『@zoom.us』の受信許可設定をお願いいたします。

またdocomo、au、softbankなどのキャリアメールアドレスでのご登録は、受信設定等により

メールが届かない可能性がございますので、なるべくお控えいただきますようお願いいたします。

■お問い合わせ先

第36回やまぐち眼科フォーラム 運営事務局

（レタープレス株式会社 広島本社内）

E-mail: kagikawa@letterpress.co.jp

TEL: 080-9952-3894（受付時間：平日9:30～17:00 当日16:00～19:00）